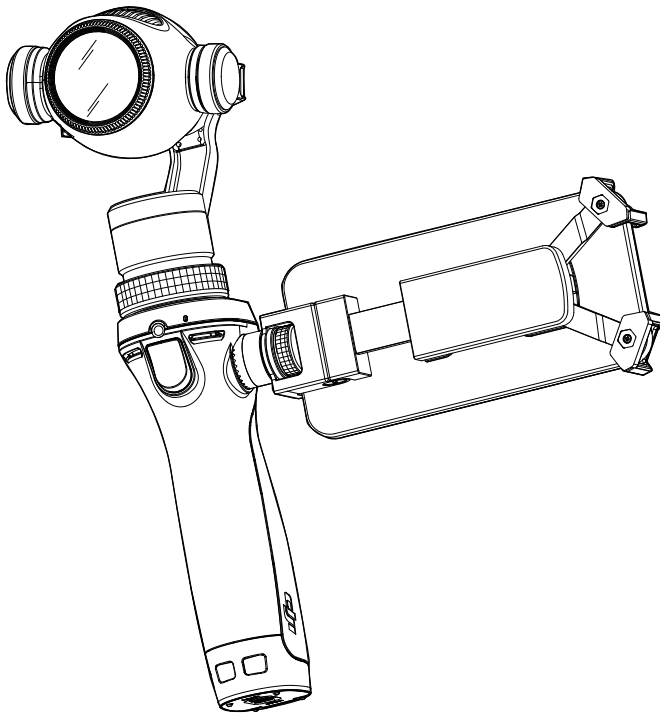
OSMO+

ユーザーマニュアル

V1.0 2017.01



キーワードの検索

「バッテリー」や「取り付け」などのキーワードでトピックを検索します。Adobe Acrobat Reader を使用して本書を読んでいる場合、Windows では [Ctrl] + [F]、Mac では [Command] + [F] を押して検索を開始します。

任意のトピックへの移動

目次のトピックの全リストが表示されます。トピックをクリックしてそのセクションに進みます。

本書を印刷する

本書は高解像度印刷に対応しています。

このマニュアルの使用方法

凡例

⚠ 重要　　ヒント

DJI GO アプリのインストール

App Store または Google Play で「DJI GO」を検索して、
お手持ちのモバイルデバイスにアプリをインストールします。

⚠ DJI GO は iOS 8.0 以降と Android 4.3 以降に対応しています。

© 2017 DJI All Rights Reserved.

目次

このマニュアルの使用方法 2
- 凡例 2
- DJI GO アプリのインストール 2

はじめに 4

はじめに 5
- インテリジェントバッテリー 5
- モバイルデバイスの取り付け 7
- モバイルデバイス・ホルダーの取り外し 8
- 別売品 8
- ジンバルのロック解除 9
- ジンバルのロック 10

Osmo+ の使用方法 10
- コントロールと操作 10
- 操作モード 13

DJI GO アプリ 15
- ダウンロード 15
- DJI GO アプリへの接続 15
- 主なページ 16

ファームウェアの更新 21
- DJI GO アプリの使用 21
- microSD カードの使用 21

メンテナンス 22

仕様 22

トラブルシューティング 25

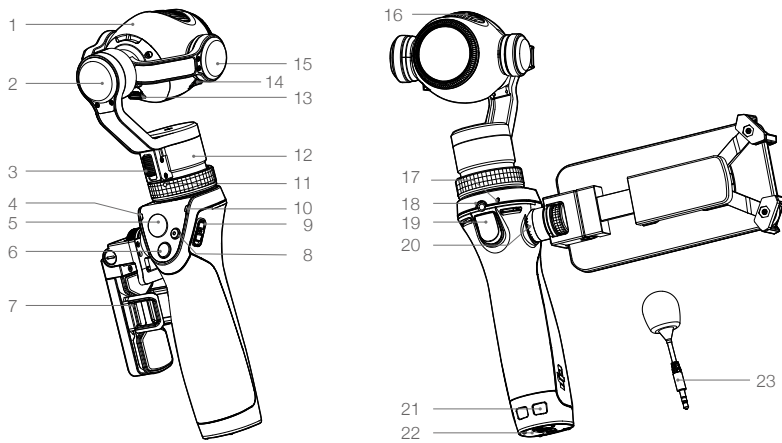
© 2017 DJI All Rights Reserved.

はじめに

OSMO™ + は、手持ちで撮影できる携帯性と安定性を兼ね備えた本格的なジンバルカメラです。このカメラには、光学 3.5 倍ズームレンズとロスレスデジタル 2 倍ズーム * が搭載されています。本機は、鮮明な 1,200 万画素の静止画と最大 4K の動画を撮影できます。軽量で人間工学に基づく設計を採用し、指先でボタン操作をしながら片手で撮影できる、小型でパワフルな撮影用デバイスです。DJI GO アプリでは、Osmo+ でモーション・タイムラプスや 9 ショットパノラマなどの撮影モードが使用できます。

3 軸ジンバルとスムーズトラック技術により、撮影時の手ブレを防ぐことができ、滑らかな動画撮影を実現します。きめ細やかなカメラ操作には、ジョイスティックを使ってください。すぐにカメラを操作したいときには、手で直接カメラを操作してください。カメラは 170 度の範囲でチルトの調整が可能で、パンは 640 度回転させられます。ハンドルの側面にある DJI ロゼットマウントには、モバイルデバイスを装着して、ライブ HD ビューファインダーとして使用したり、特殊撮影用に車載マウントや三脚などのアクセサリーを取り付けられます。

各部名称:



1 カメラ
2 ロール軸モーター
3 パン軸ロック
4 カメラステータス LED
5 ジョイスティック
6 シャッターボタン
7 モバイルデバイス・ホルダー
8 録画ボタン
9 電源スイッチ
10 システムステータス LED
11 ジンバル固定リング
12 パン軸モーター
13 カメラ Micro USB ポート
14 microSD カードスロット
15 チルト軸モーター
16 エアベント
17 内蔵マイク
18 外部マイク入力
19 トリガー
20 DJI ロゼットマウント
21 ストラップ取付口
22 バッテリーカバー
23 フレキシマイク

* デジタルロスレスズームは、1080p で撮影しているときのみ使用できます。

 © 2017 DJI All Rights Reserved.

はじめに

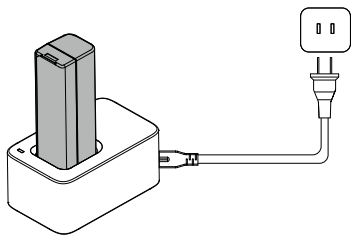
インテリジェントバッテリー

1,225mAh インテリジェントバッテリーは、フル充電すると、Osmo+ に約 114 分電源を供給できます。

バッテリーの充電

付属のケーブルを使用して充電器を電源コンセントに接続します。

バッテリーを充電器に挿入します。バッテリーの完全に充電する場合、約 110 分かかります。システムステータス LED の点滅パターンについての詳細は、以下の「システムステータス LED の説明」を参照してください。



システムステータス LED の説明の説明

システムステータス LED		説明
— 黄色に点灯		バッテリーが検出されない
..... 緑色に点滅（特定回数）	1 回点滅	25% 未満
	2 回点滅	25 ～ 49%
	3 回点滅	50 ～ 74%
	4 回点滅	75 ～ 99%
— 緑色に点灯		充電完了
— 赤色に点灯		充電エラー。バッテリー充電器との接続を確認してください

インテリジェントバッテリーの機能	
バッテリーの平衡化	充電中に各バッテリーセルの電圧が平衡化されます。
過電流保護	充電電流が大きすぎる場合は、充電を中止します。
過充電保護	充電電圧が高すぎる場合は、充電を中止します。
過放電保護	充電電圧が低すぎる場合は、放電を中止します。
短絡保護	短絡が検知された場合は、電源供給を中止します。
温度制御	バッテリー内部の温度が 5℃未満になったり、40℃ を超えたりした場合は、充電を中止します。
バッテリー残量表示	バッテリー残量は　DJI GO アプリに表示されます。

© 2017 DJI All Rights Reserved.

バッテリー仕様

モデル	HB02-542465
型式	LiPo
容量	1,225mAh
電力量	14.1Wh
電圧	11.1V
充電温度	5 ～ 40℃
動作環境温度	0 ～ 40℃

⚠
- インテリジェントバッテリーを初めて使用するときは、必ず完全に充電してください。
- ご使用前に、ユーザーマニュアル、インテリジェントバッテリー安全ガイドラインをお読みください。ユーザーには、すべての操作と使用に対する全責任があります。

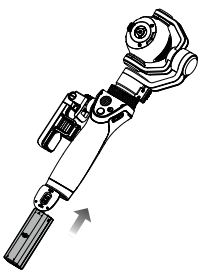
バッテリー充電器の仕様

モデル	OS1C11
入力	100-240 V、50/60 Hz
出力	12.6 V/13.2 V、0.8 A

⚠
- バッテリーは必ず付属の充電器で充電してください。DJI 製以外の充電器をご使用になった場合の事故については DJI は一切責任を負いません。
- バッテリーの放電を避けるために、充電中以外はバッテリーを充電器から取り外してください。

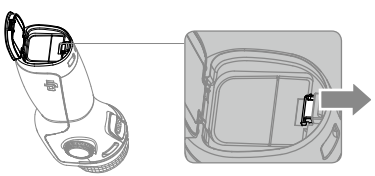
バッテリーの挿入

Osmo+ の底部にあるバッテリーカバーのロックをスライドさせて、バッテリーカバーを開きます。バッテリーを挿入し、バッテリーカバーをロックします。



バッテリーの取り外し

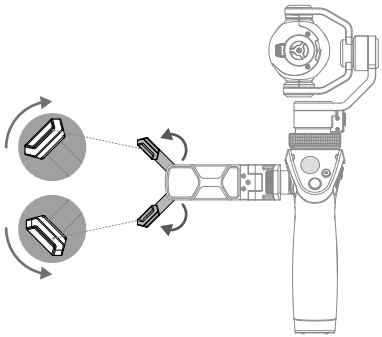
Osmo+ の底部にあるバッテリーカバーのロックをスライドさせて、バッテリーカバーを開きます。赤色の安全フックをバッテリーと反対方向に押してロックを解除してから、バッテリーを外します。



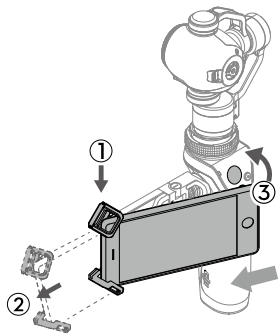
 © 2017 DJI All Rights Reserved.

モバイルデバイスの取り付け

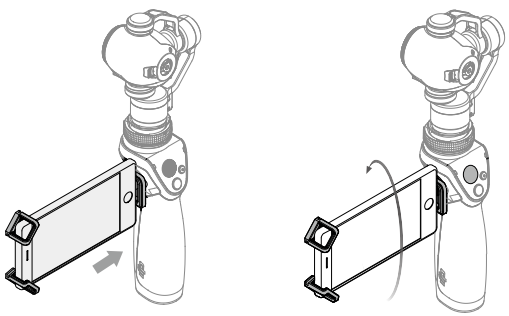
1. モバイルデバイス・ホルダーの 2 本のアームを開きます。
2. パッドをお好みの位置に調整します。



3. モバイルデバイスの片端をアームに置きます。
4. モバイルデバイス全体がモバイルデバイス・ホルダーに収まるように、アームを引き出します。



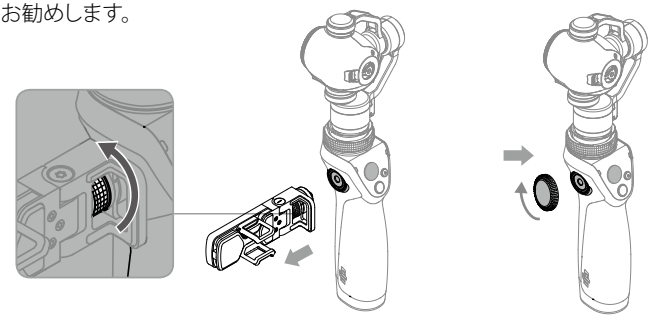
5. モバイルデバイスをお好みの位置まで回転させます。



© 2017 DJI All Rights Reserved.

モバイルデバイス・ホルダーの取り外し

1. ノブを反時計回りに回すことにより、モバイルデバイス・ホルダーを取り外すことができます。
2. モバイルデバイス・ホルダーを使用しないときは、DJI ロゼットマウント用キャップを取り付けることをお勧めします。

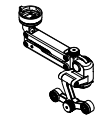


別売品

DJI では、Osmo+ 用のさまざまな別売アクセサリーを用意しています。

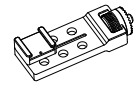
Z-Axis

Osmo Z-Axis は、歩行やジョギング中、垂直方向に動く腕の揺れを大幅に軽減します。



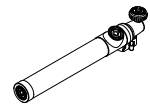
ユニバーサルマウント

マイクやフラッシュなどのアクセサリーを取り付けるときに使用します。



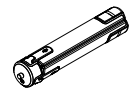
延長ロッド

グループでのセルフィーや頭上からの撮影、または狭い空間にカメラを入れて撮影するときに役立ちます。



三脚

安定した映像が必要なときに、本機を固定して撮影できます。三脚は延長ロッドと組み合わせて使用します。



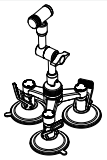
バイクマウント

Osmo+ を自転車のハンドルに取り付けるのに使用します。

 © 2017 DJI All Rights Reserved.

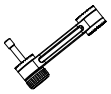
車載用マウント

3 つの吸盤のついたマウントは、移動中の車の上部またはリヤウィンドウに取り付けるのに最適です。



ストレート拡張アーム

同時に最大 3 種類のマウントを取り付けるのに使用します。

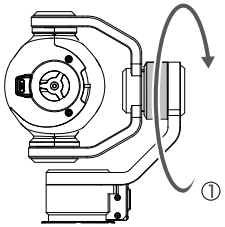


• 詳細については DJI 公式オンラインストア（http://store.dji.com）でご確認ください。

ジンバルのロック解除

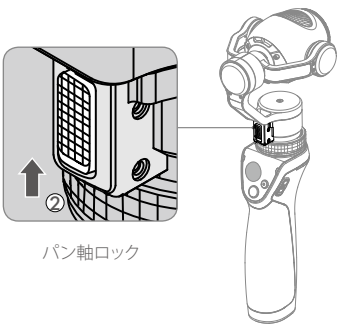
ジンバルを保護するために、モーター軸は所定の位置でロックされています。ジンバルのロックを解除するには、以下の手順に従ってください。

1. ロール軸モーターを、自由に回転するようになるまでゆっくり回します。



• モーターが自由に動くよう回転させてください。

2. パン軸ロックを上側にスライドさせ、パン軸のロックを解除します。



パン軸ロック

© 2017 DJI All Rights Reserved.

⚠ • Osmo+ の電源を入れる前でも後でも、ジンバルのロック解除ができます。Osmo+ の電源を入れる前にジンバルのロックを解除することをお勧めします。
• Osmo+ は、起動後ジンバルがロックされていると、ゆっくりとしたビープ音を鳴らします。これは、カメラは正常に動作していますが、ジンバルは停止していることを示しています。
• 電源を入れた後にジンバルのロックを解除する必要がある場合、パン軸モーターを回転させてジンバルを再度起動してください。

ジンバルのロック

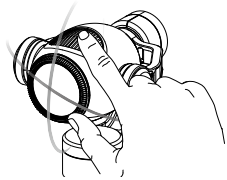
パン軸ロックを引き下げてパン軸をロック位置まで（それ以上回せなくなるまで）回し、ロール軸モーターを調整して所定の位置にロックさせます。

⚠ • 録画中にジンバルをロックしないでください。録画が停止してしまいます。

Osmo+ の使用方法

コントロールと操作

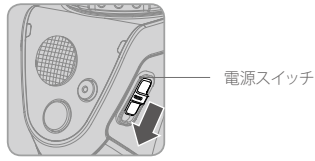
ジンバルは、ハンドルの動きを予測してパンやチルトの移動を滑らかにし、スムーズトラック技術により、手ブレによって生じるカメラの揺れを抑えます。
カメラの位置を手で直接調整できます。



さらに、ハンドルの前部と後部にあるボタンで、ジンバルとカメラの向きを微調整できます。すべてのボタンと操作方法は以下のとおりです。

[1] 電源スイッチ

Osmo+ の電源を入れるには、電源スイッチを引き下げてから放します。
もう一度電源スイッチを引くと、Osmo+ がスリープモードに入るか、スリープモードが解除されます。
電源スイッチを 1.5 秒間引き下げたままにすると、Osmo+ の電源がオフになります。



⚠ • Osmo+ の起動中は、直立させた状態にして、動かさないでください。

 © 2017 DJI All Rights Reserved.

[2] ジョイスティック

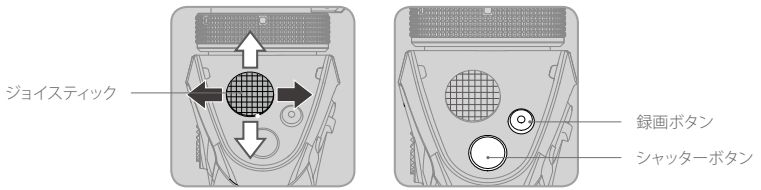
上下の動きでカメラがチルトします。左右の動きでカメラがパンします。ジョイスティックの制御方向は DJI GO アプリで変更できます。

[3] シャッターボタン

シャッターボタンを押すと、DJI GO アプリの設定どおりに写真を撮影します。シャッターボタンを長押しすると、写真を連続で撮影できます。

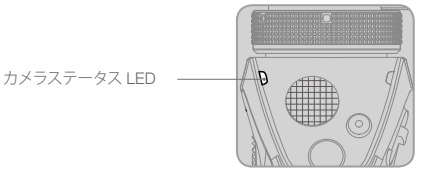
[4] 録画ボタン

録画ボタンを 1 回押すと録画が開始され、もう 1 回押すと録画が停止されます。



[5] カメラステータス LED

カメラのシステムステータスを示します。詳細については、下記の表を参照してください。

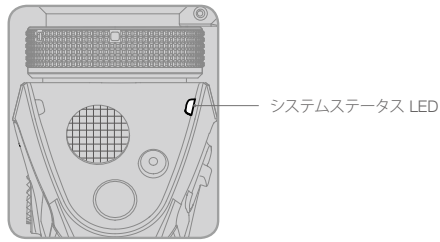


点滅パターン		説明
○	LED が消灯	カメラは正常に機能しています。
Ⓥ ……	緑色に点滅	写真を撮影しています。
Ⓥ …… ..	ゆっくりと緑色で点滅	セルフタイマー
Ⓥ … … …	撮影ごとに緑色で点滅	連続撮影
Ⓥ ——	緑色に点灯	ファームウェアが正常にアップデートされました。
Ⓡ ……	ゆっくりと赤色で点滅	ビデオを録画しています
Ⓡ / Ⓥ ……	赤色と緑色に交互に点滅	ファームウェアをアップグレード中です。
Ⓡ ——	赤色に点灯	カメラが Osmo+ に適切に取り付けられていません。／ファームウェアのアップグレードに失敗したかシステムのエラーです。
Ⓡ × 2……	赤色に 2 回点滅	カメラのエラー。
Ⓐ ……	黄色に点滅	microSD カードの空き容量が不足しています。
Ⓐ ——	黄色に点灯	microSD カードのエラーです。

© 2017 DJI All Rights Reserved.

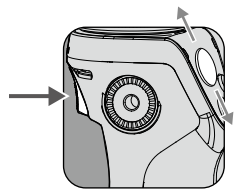
[6] システムステータス LED

Osmo+ のステータスを示します。詳細については、下記の表を参照してください。

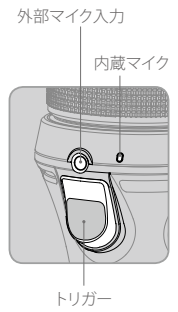


システムステータス LED	説明
Ⓥ …… 素早く緑色に点滅	Osmo+ が初期化中であること、またはスリープモードが終了していることを示します。
Ⓡ ……ゆっくりと赤色に点滅	低バッテリーレベル警告
Ⓡ …… 赤色に素早く点滅	極低バッテリーレベル警告
Ⓐ ── 黄色に点灯	トリガーがタップされ、ジンバルがロックモードになっています。
Ⓡ ── 赤色に点灯	DJI 製以外のバッテリーが検出されました。
Ⓥ ── 緑色に連続的に点滅 (高バッテリーレベル) Ⓡ ── 赤色に連続的に点滅 (低バッテリーレベル)	スリープモードになっていることを示します。

[7] トリガー



- トリガーを引きながらジョイスティックを上下に押すとズームします。
- トリガーを引き続けると、ロックモードが有効になります。カメラはハンドルの動きに関係なく、現在の位置を維持します。トリガーを離すと、スムーズトラックモードに戻ります。
- トリガーを 2 回すばやく引くと、カメラが中央の位置に戻ります。
- Osmo+ が標準モードおよび吊り下げモードのときは、トリガーを素早く 3 回タップするとセルフィーモードになります。



[8] 外部マイク入力

付属のフレキシマイクを接続して音声を録音します。

[9] 内蔵マイク

一般的な録音に適しています。DJI GO アプリでマイクをオフにできます。

 © 2017 DJI All Rights Reserved.

⚠ • 外部マイクは、内蔵マイクの音声受信より優先されます。

[10] キーの組み合わせ

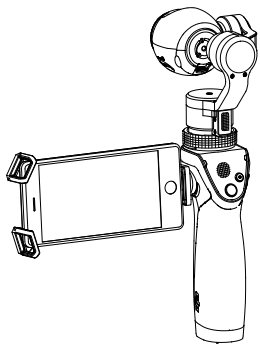
Wi-Fi の初期設定の復元：トリガーおよびシャッターボタンを同時に長押しします。そして、システムステータス LED が緑色に点滅するまで電源スイッチを引き下げます。電源ボタンを放してからトリガーを放します。Wi-Fi 接続のための SSID、パスワード、周波数の初期設定が復元されます。

Osmo+ の Wi-Fi の電源オン／オフ：トリガーを長押しして電源スイッチを引き下げ、電源スイッチとトリガーを同時に放します。システムステータス LED が 2 回点滅して、Wi-Fi がオフになります。Wi-Fi をオンにするには、この手順を繰り返します。

操作モード

直立モード

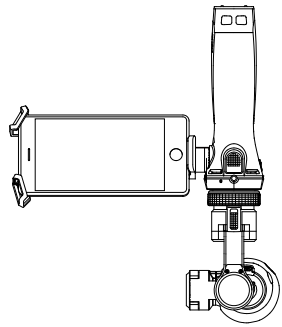
標準モードはデフォルトのモードです。標準モードを使用しているときに、トリガーを 2 回素早くタップすると、カメラが中央の位置に戻ります。



© 2017 DJI All Rights Reserved.

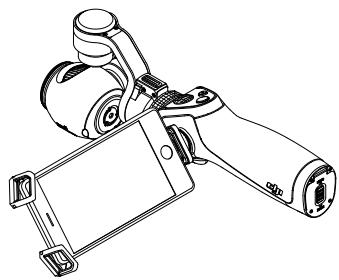
吊り下げモード

Osmo+ を逆さにすると、吊り下げモードに切り替わります。低い位置から撮影するときに便利なモードです。トリガーを 2 回素早く引くと、カメラが中央の位置に戻ります。



ペンライトモード

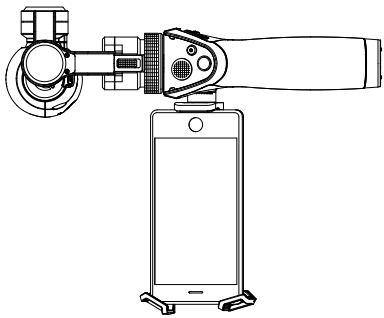
Osmo+ を前方に 90 度回転すると、標準モードからペンライトモードに切り替わります。ペンライトモードでは、ジョイスティックを上下に押すと、カメラがチルトします。ジョイスティックを左右に押しても何も動きません。



 © 2017 DJI All Rights Reserved.

ポートレートモード

Osmo+ を左または右に 90 度回転させると、標準モードからポートレートモードに切り替わります。



DJI GO アプリ

DJI GO アプリを使用すると、モバイルデバイスの画面でライブ HD 動画を確認できます。DJI GO アプリを使用すると、Osmo+ でモーション・タイムラプスや 9 ショットパノラマなどの撮影モードが使用できます。

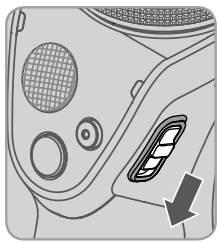
このアプリを使用すると、カメラとジンバルの設定を数回タップするだけで変更できます。

ダウンロード

App Store または Google Play で「DJI GO」を検索し、お手持ちのモバイルデバイスにアプリをダウンロードします。

DJI GO アプリへの接続

1. Osmo+ の電源を入れます。Osmo+ 起動中はハンドルを静止させ、ジンバルに触れないでください。



© 2017 DJI All Rights Reserved.

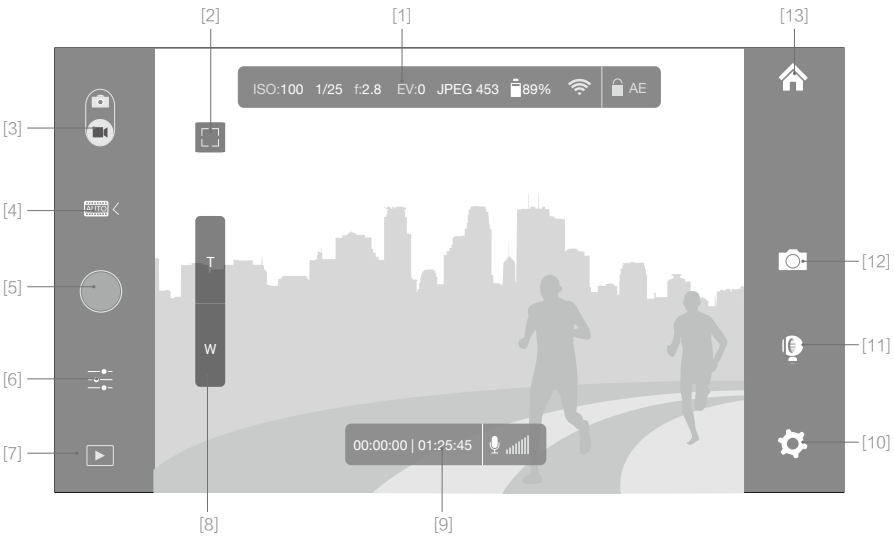
2. モバイルデバイスで「OSMO_XXXXXX」Wi-Fi ネットワークに接続し、初期設定のパスワード「12341234」を入力します。その後、DJI GO アプリを起動します。

3. Osmo+ を初めて使用する場合は、画面の指示に従って Osmo+ を有効にします。インターネットに接続できる環境で DJI アカウントにログインする必要があります。アクティベーションが完了したら、再び Osmo+ Wi-Fi ネットワークに接続します。
4. カメラビューにします。カメラが正常に接続されている場合、カメラが撮影している映像がリアルタイムで表示されます。

• カメラビューにすると、Osmo+ の使用方法に関するチュートリアルが表示されます。

主なページ

1. [機器] > [カメラ]



 © 2017 DJI All Rights Reserved.

[1]

情報バー

カメラのパラメータ、現在のバッテリーレベル、Wi-Fi の信号強度が表示されます。

[2] ／：オートフォーカス／測光モード

タップしてオートフォーカスと測光モードを切り替えます。

[3] ／：静止画／動画の切り替え

スライドして静止画モードと動画モードを切り替えます。

[4] 静止画／動画の設定

：静止画モード

- シングルショット

  通常の撮影、セルフタイマー撮影「5 秒」または「10 秒」、HDR。

- マルチショット

  バーストショット 3/5/7 枚、オート露出ブラケット（AEB）：0.7EV ステップ 3/5 枚。

- パノラマ

  前方：カメラは 180 度回転してパノラマ写真を作成します。

  オート：カメラは 360 度回転してパノラマ写真を作成します。

  セルフィー：カメラは撮影者に焦点を当て、180 度のパンでパノラマを作成します。

  マニュアル：シャッターボタンを押すたびに、カメラは指定の角度のパンに調整されます。最大 8 枚の静止画を手動で撮影し、パノラマを作成できます。被写体を常に画面の右側に収めてください。

  9 ショットパノラマ（マトリックス）：カメラはパンおよびチルトにより 9 枚のグリッドを撮影し、つなぎ合わせて大きな 1 枚のパノラマ写真を作成します。

- インターバル撮影

  5 秒、10 秒、または 30 秒間隔。

- タイムラプス

  レギュラーおよびモーション・タイムラプスモードがあります。モーション・タイムラプスモードでは、最大 5 つのアングルをあらかじめ指定して、カメラを移動しながらタイムラプスを作成します。

  1) タイムラプスを「JPEG+Video」形式で撮影する場合、撮影間隔は 最低 2 秒必要です。このオプションを無効にすると、最低間隔は 1 秒に縮小されます。

  2) タイムラプス間隔が 2 秒以上の場合、動画を滑らかにするため、カメラはモバイルデバイスのライブ HD 動画に対し、デジタル安定化を適用します。

：動画モード

- オート：カメラの設定に基づいた通常の動画です。
- スローモーション：1080p 、100fps で録画されます。

© 2017 DJI All Rights Reserved.

[5] ●:シャッター／録画ボタン
静止画モードでは静止画を撮影し、動画モードでは動画を録画します。

[6] :カメラのパラメータ
撮影モード、ISO、シャッター速度、露出値を選択します。

[7] ▶:再生
タップして、microSD カードの静止画と動画を表示します。

[8] T W :ズームボタン
T をタップするとズームインし、W をタップするとズームアウトします。

[9] 00:00:00 | 01:25:45 :録画ステータスバー
現在の録画時間、録画残時間、マイク音量を表示します。

[10] :設定

カメラ

ここで、静止画、動画録画の出力形式の選択、ヒストグラムなどのオンスクリーン表示を選択できます。これら設定の一部を以下で説明します。

- 動画字幕
  このオプションを使うと、動画ファイルとともに、オンスクリーン情報を収めた .srt ファイルが作成されます。
- タイムラプスフォーマット
  「JPEG+ 動画」を選択すると、動画とともにタイムラプスの静止画も保存されます。
- アンチフリッカー
  光のちらつきを防止するために、お住まいの地域の電流サイクルに合う周波数を選択してください。
- ファイルの通し番号
  「リセット」を選択すると、ファイル名の通し番号は、1 からスタートします。「継続」を選択すると、ファイル名の通し番号は以前の番号を引き継ぎます。

ジンバル

- プロフィール
  求めるジンバルの応答性に応じて、「高速」「中速」「低速」から選択します。あるいは、C1 または C2 を選択して以下の設定を行い、カスタムプロファイルを作成します。
- スムーズトラック設定
  パン軸およびチルト軸は、それぞれ個別に調整できます。
  速度：変換されたパン／チルトハンドルの動きに対して、ジンバルが対応する速さを決定します。
  デットバンド：デッドバンドを大きくすると、ジンバルの動きに変換するために、より大きいパン／チルトハンドルの動きが必要になります。

 © 2017 DJI All Rights Reserved.

加速：変換されたパン／チルトハンドルの動きに対して、カメラがどの程度正確に従うかを決定します。

・ジョイスティックの設定

スムージング：ジンバルの減速を制御します。値を小さくすると、ジンバルは急停止します。

速度：ジョイスティックで制御する際のチルト軸／パン軸の動作速度を制御します。

操作方向ジョイスティックの制御方向を［フリー］に設定すると、Osmo+ のチルト軸とパン軸を同時に制御できます。

左／右操作の反転：カメラの左右方向を反転させます。右に押すとカメラが左に回転し、左に押すと右に回転します。

上／下操作の反転：カメラの上下方向を反転させます。ジョイスティックを上に押すと、カメラは下にチルトします。

・水平校正

カメラの水平レベルが完全に水平でない場合、正の値または負の値を設定して、ロール軸をキャリブレーションする必要があります。

・自動校正

周辺からの磁気干渉や人的エラーが原因の磁性干渉によって起きるドリフトを低減します。キャリブレーション中は、Osmo+ を直立させて静止させます。

・ジンバルリセット

タップして、ジンバルをデフォルト設定に戻します。

一般設定

ここで Wi-Fi パスワードの変更、動画キャッシュのクリアを実行できます。

ライブストリーム

YouTube ライブにライブストリーミングします。

[11] :ジンバル機能

シーンモード：スムーズトラックの速度はシーンモードに応じて変更されます。スポーツモードでは速く動き、ウォークモードではゆっくりと動きます。

Osmo+ で Osmo のウェアモードを使用しているときは、Osmo 装着によって生じる垂直方向の動きが最小限に抑えられます。

をタップしてカメラを再度センタリングします。

をタップしてロックモードを有効化します。

をタップしてセルフィーモードにします。

チルト軸ロック：有効にすると、現在の角度でチルト軸をロックします。

ズーム＋スムーズトラック：この機能を有効にすると、スムーズトラックの速度がズームのレベルに合わせて自動的に調整されます。

ジンバル停止時にフォーカス：この機能を有効にすると、ジンバルの動きが停止するとオートフォーカスが機能します。

ジンバル姿勢制御の設定：ジンバルのチルト角とパン角を手動で設定します。

© 2017 DJI All Rights Reserved.

[12] :カメラ

動画解像度、静止画のフォーマットと色の変更へのショートカットです。事前設定値かカスタムのホワイトバランスを選択し、シャープネス、彩度、コントラストを調整するスタイル設定を選びます。音量制御でマイクの音量を調整します。

[13] :ホーム

タップすると、ホーム画面に移動します。

ドラッグフォーカス

カメラビューで画面に触れたまま保ち、青色の円が現れるのを待ちます。現れた円をドラッグし、カメラを制御します。

2. Editor

作品を 1 か所で表示、編集、共有できます。Editor には、シンプルながら強力なツールが多数用意されています。動画や静止画を撮影した直後に編集し、オンラインで共有できます。

ログインするか、DJI アカウントを登録した後、作品を簡単にアップロードして共有できるようになります。保存した静止画と動画を Skypixel（www.skypixel.com）にアップロードし、Facebook、Twitter、WeChat、Moments、Sina Weibo などのソーシャルネットワーク上で共有できます。

動画

録画したすべての動画映像は、[Original Footage(元の映像)]に表示されます。映像をトリミングし、[Create Movie（ムービーの作成）]に保存できます。次に、複数のクリップを選択し、組み込みの編集ツールやテンプレートを使って、ムービーを素早く作成できます。

静止画

パラメータの調整、静止画サイズの編集、透かしの追加、およびフィルタの適用など、静止画を編集します。

3. SkyPixel

SkyPixel ネットワークで写真や動画を閲覧、共有します。

4. Me

DJI アカウントをすでにお持ちの場合は、ここでフォーラムのディスカッションに参加できます。

 © 2017 DJI All Rights Reserved.

ファームウェアの更新

バッテリーに 50 % 以上の残量があることを確認してください。アップグレードには、およそ 20 分かかります。アップグレード中はジンバルをロックし、ハンドルを平らな面上に置くことをお勧めします。

アップグレード中は、カメラステータス LED が緑色と赤色に交互に点滅し、ファームウェアのアップグレード完了時に緑色の点灯に変わります。Osmo+ のアップグレードが正常に終了すると、長いビープ音 1 回と、短いビープ音 2 回で構成されるビープパターンが聞こえます。アップグレードが正常に終了しなかった場合、カメラステータス LED が赤色に点灯し、Osmo+ から速いビープ音が発せられます。その場合はアップデートをやり直してください。

DJI GO アプリの使用

Osmo+ をお手持ちのモバイルデバイスに接続し、DJI GO アプリを起動します。新しいファームウェアのアップグレードが利用できる場合には、通知されます。アップグレードを開始するには、モバイルデバイスをインターネットに接続し、画面の指示に従います。

⚠ • アップグレードを開始するには、microSD カードを Osmo+ に挿入する必要があります。

microSD カードの使用

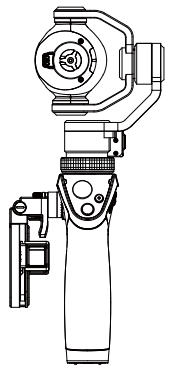
1. 最新のファームウェア更新パッケージを、DJI 公式ウェブサイトの製品ページからダウンロードします。
2. microSD カード（充分な空き容量があることを確認）のルートディレクトリーに bin ファイルをコピーし、Osmo+ の電源をオフにして、カメラの microSD カード用スロットにこのカードを挿入します。
3. Osmo+ の電源を入れてアップグレードを開始します。
   microSD カードのルートディレクトリー上の .txt ファイルを読んで、アップグレード結果を確認します。

⚠ • Osmo+ を再起動し、通常の使用ではカメラのステータス LED がオフであることを確認します。

© 2017 DJI All Rights Reserved.

メンテナンス

Osmo+ 搬送時は、下図のように Osmo+ をロックし、ジンバルを保護してください。



Osmo+ には防水機能はありません。使用中は、砂やホコリがかからないようにしてください。使用後は Osmo+ を乾いた柔らかい布で拭き、清潔な状態にすることをお勧めします。Osmo+ に洗浄液を吹きつけないでください。

仕様

ハンドル	
寸法	61.8 × 48.2 × 161.5 mm
重量（バッテリーを含む）	201 g
ジンバル	
モデル	Zenmuse X3 Zoom
重量	268 g
出力電力 (カメラを含む)	8 W
角度ぶれ範囲	± 0.02°
取り付け方法	着脱可能
操作可能範囲	チルト：-35 〜 +135° パン：± 320°、ロール：± 30°
機械的な可動範囲	チルト：-50 〜 +140° パン：± 330°、ロール：-50 〜 +90°
最大制御速度	120°/s

© 2017 DJI All Rights Reserved.

カメラ	
モデル	X3 ズーム / FC 350 Z
センサー	1/2.3″ CMOS 有効画素数：1,240 万 （総画素数：1,276 万）
レンズ	光学 3.5 倍ズーム 22 ～ 77 mm 相当 F2.8（ワイド端）～ F5.2（テレ端） 視野角 92°（ワイド端）～ 35°（テレ端） フォーカス：0.5 m から無限遠
ISO レンジ	100 ～ 3200（動画）：100 ～ 1600（静止画）
電子シャッター速度	8 秒～ 1/8000 秒（カメラが M モードの場合最大 30 秒）
最大静止画サイズ	4,000 × 3,000 画素
静止画モード	シングルショット バーストショット：3/5/7 枚 オート露出ブラケット（AEB）：0.7 EV ステップでの 3/5 枚 インターバル撮影 自動パノラマ セルフィーパノラマ 9 ショットパノラマ モーション・タイムラプス 標準タイムラプス
動画解像度	DCI4K：4,096 × 2,160 24/25p UHD4K：3,840 × 2,160 24/25/30p 2.7K：2,704 × 1,520 24/25/30p FHD：1,920 × 1,080 24/25/30/48/50/60/100p
動画録画モード	オート スローモーション
動画ビットレート最大値	60 Mbps
対応ファイル形式	FAT32（≤ 32 GB） exFAT（> 32 GB）
静止画フォーマット	JPEG、DNG（RAW）
動画フォーマット	MP4/MOV（MPEG-4 AVC/H.264）
対応 SD カード	microSD 最大容量：64 GB クラス 10 または UHS-1
動作環境温度	0 ～ 40℃

© 2017 DJI All Rights Reserved.

オーディオ出力	48 kHz AAC
Wi-Fi ビデオリンク	
動作周波数	2.412 ～ 2.462 GHz 5.180 ～ 5.805 GHz
最大伝送距離	25 m
トランスミッター出力（EIRP）	2.4 GHz：8 dBm 5 GHz：12 dBm
インテリジェントバッテリー	
モデル	HB02-542465
タイプ	LiPo
容量	1225 mAh
電力量	14.1 Wh
電圧	11.55 V
充電温度	5 ～ 40℃
動作環境温度	0 ～ 40℃
バッテリー充電器	
モデル	OS1C11
入力	100 ～ 240 V、50/60 Hz
出力	12.6/13.2 V、0.8 A
フレキシマイク	
感度	-32 ± 3 dB（0 dB = 1 V/Pa）
周波数応答	100 ～ 10000 Hz
信号対雑音比	60 dBA
ピン直径	3.5 mm
長さ	88 mm
重量	4 g

 © 2017 DJI All Rights Reserved.

トラブルシューティング

1. Osmo+ に接続できない

- モバイルデバイスの Wi-Fi 設定をチェックし、Osmo+ の Wi-Fi ネットワークに接続されていることを確認してください。
- スマートフォンの Wi-Fi 設定に Osmo+ の Wi-Fi ネットワークが表示されない場合は、モバイルデバイスが 2.4 GHz または 5.8 GHz チャンネルで作動していることを確認して、もう一度やり直してください。
- モバイルデバイスが Osmo+ の Wi-Fi ネットワークに接続されているのに Osmo+ に接続できない場合は、Osmo+ を再起動してもう一度やり直してください。

それでも不具合が解消しない場合は、キーの組み合わせを使用して Osmo+ の Wi-Fi ネットワークを初期設定に戻してください。(キーの組み合わせ:トリガーおよびシャッターボタンを同時に長押しします。そして、システムステータス LED が緑色に点滅するまで電源スイッチを引き下げます。電源ボタンを放してからトリガーを放します。)

それでも接続できない場合は、www.dji.com/support のオンラインサポートにお問い合わせください。

2. 開梱後、ジンバルが作動しない

DJI アカウントに Osmo+ をリンクさせて、Osmo+ をアクティベーションを行ってください。モバイルデバイスを専用の Osmo+ Wi-Fi ネットワークに接続し、DJI GO アプリを起動し、画面上の指示に従ってデバイスをアクティベートしてください。

3. Osmo+ の電源を入れると、ビープ音が鳴り続ける

ジンバルがロックされています。チルト軸とロール軸を、自由に動くまで回してください。パン軸がロックされている場合は、パン軸ロックを上にスライドさせ、パン軸が自由に動くようにしてください。

4. 動画録画中にバッテリーが消耗したらどうすればいいですか

カメラから microSD カードを抜かないでください。バッテリーを再充電するか、新しいバッテリーをハンドルに挿入してください。Osmo+ が再起動すると、動画ファイルは自動的に正常に戻ります。

5. 素晴らしい長時間露出ショットを撮るにはどうしたらいいですか

シャッター速度を遅く設定することにより、長時間露出できます。DJI GO アプリで、[S] モード(シャッター優先)または [M] モード(マニュアルモード)を選択し、シャッター速度を目標値に調整してください。シャッターを開けている間は、カメラを静止させるよう気をつけてください。

6. Osmo+ で動画を録画中に、DJI GO アプリを閉じたり、モバイルデバイスの接続を切ったりできますか

はい、できます。Osmo+ は動画の録画を続行し、静止画を撮影することもできますが、モバイルデバイスでショットをプレビューすることはできなくなります。

© 2017 DJI All Rights Reserved.

本内容は変更されることがあります。

最新版は下記よりダウンロードしてください。
http://www.dji.com/product/osmo-plus

If you have any questions about this document, please contact DJI by sending a message to **DocSupport@dji.com**.

OSMO は DJI の商標です。
Copyright © 2017 DJI All Rights Reserved.